※令和３年度以前入学生用

学校番号	101

令和５年度　地歴・公民科

教科	地歴	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）　　標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2019（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界を空間的広がりで把握する感覚を養う。
・世界を自然環境と社会環境という観点から考察する能力を養う。
・世界各地の地名の位置と内容を、地図で確認し一致させる習慣を培う。
・日本と世界の繋がりを地理的に考察する能力を養う。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸問題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察する。
・現代世界の地理的認識を養う。
・地理的な見方や考え方を培う。
・国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理の学習を暗記だけでなく、地理的事象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	地理の事象や各地域の現象に関心・疑問を見い出し、分析したり、総合的に考えたり、科学的に分析できる。また、それを表現することができる。	日本や世界の地理的事象・現象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本や世界の地理的事象・現象の展開についての基本的な事柄を、地球環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 発言・発表 白地図作業 ノート提出	同左	同左	同左

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	自然環境	・気候の成り立ち ・世界の気候区分 ・気候と植生 ・変化する気候	○	○	○	○	a:世界の気候について、地域ごとの気候の違いや人間生活との関係に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、とらえようとしている。 b:世界の気候について、地域ごとの気候の違いや特徴を、地球規模の循環現象などと関連付けて考察するとともに、人間生活との関わり合いを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界の気候について、地域や気候区ごとの違いを示す雨温図・ハイサーグラフ・写真などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。 d:世界の気候の成因、各気候区の特徴、気候変動と異常気象などについて、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 白地図作業 発言発表 ノート提出

※令和３年度以前入学生用

2	資源と産業	・農業の発達と分布 ・農業の地域区分 ・世界の林業・水産業 ・日本の農林水産業	○	○	○	○	a:世界の農林水産業について、現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、農業の成立条件などをふまえて、それらを意欲的に追求し、とらえようとしている。 b:現代世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:現代世界や日本の農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。 d: 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて、農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 白地図作業 発言発表 ノート提出

※令和３年度以前入学生用

3	資源と産業	・世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界の工業	○	○	○	○	a:世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布の偏りなどに対する関心と問題意識を高め、それらを意欲的に追求し、とらえようとしている。 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心と問題意識を高め、それらを意欲的に追求し、とらえようとしている。 b:世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布の偏りを、自然環境の学習内容などをふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 世界の工業について、工業の立地や発達に影響を及ぼす自然条件や社会条件をふまえて、工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c:エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計や主題図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。 工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 d:世界のエネルギー資源・鉱産資源について、その種類や分布、主な利用法などを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 白地図作業 発言発表 ノート提出

※令和３年度以前入学生用

							世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題、及び日本の工業の特徴と課題を理解し、その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。